## Mizuho Bangkok Daily Market Report

# Dated of 2025/01/22

#### Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.96	-0.14
JPY/THB	0.2185	-0.0007
USD/JPY	155.52	-0.10
EUR/THB	35.43	-0.11
EUR/USD	1.0428	0.0012
USD/CNH	7.267	0.005
SGD/THB	25.11	-0.06
AUD/THB	21.31	-0.09
USD/INR	86.59	0.02
USD Index	108.06	-1.29

#### Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.163	-0.006
10Y (THB)	2.414	0.001
5Y (USD)	4.396	-0.036
10Y (USD)	4.576	-0.051

#### Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,759.2	10.5
WTI (Oil)	75.89	-1.99
Copper	9,284.5	9.5

#### Stock

65

Sep-24

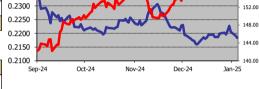
Oct-24

Jan-25

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,352.53	12.03
NIKKEI (JP)	39,027.98	125.48
DOW (US)	44,025.81	537.98
S&P500 (US)	6,049.24	52.58
SHCOMP (CN	3,242.62	-1.76
DAX(GER)	21,042.00	51.69

#### Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	170	-275.5
Bond net flow	4,155	4014.8



Stock (Blue/Left: SET, Red/Right: SP500)

USD/THB

Nov-24

Blue/Left: JPY/THB, Red/Right: USD/JPY

Dec-24

Jan-25

156.00

6300

**MIZUHO** 

Oct-24

35.50 35.00 34.50 34.00 33.50 33 00 32.50

32.00 -p-24

0.2400

0.2350

1550

90.00

Jan-25

Sep-24

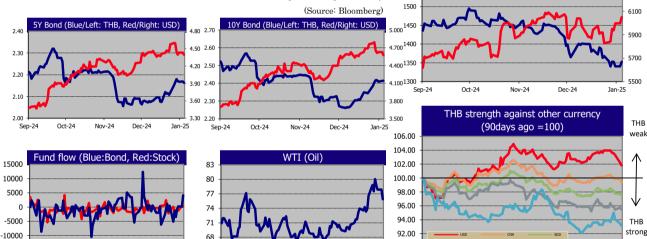
Oct-24

Nov-24

Dec-24

Jan-25





## Yesterday's market summary

#### ●ドルバーツ

Sep-24

昨日のドルバーツは下落。34バーツ台前半の水準で取引を開始。トランプ大統領の就任式を経て、全般的にアジア通貨が対ドルで堅調な推移を見せる中で、ド ルバーツも下落。34バーツを割り込んだところでは反発を見せ、海外時間入りにかけて34バーツ前半まで戻したものの、勢いは続かず、終盤にかけては再び33 バーツ台後半まで下落し、そのまま33.96レベルでクローズを迎えた。

Dec-24

Nov-24

## ●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。155円台前半の水準で取引を開始すると、トランプ政権による関税政策を巡るヘッドラインに156円前半まで上昇した後、154円台後半まで 下落するという、荒い値動きに。以降は海外時間入りにかけてじりじりと上昇するも、週後半に日銀金融政策決定会合を控える中で、156円ちょうど付近で動き が一服。終盤にかけて155円台半ばまで戻し、そのまま155.52レベルで引けた。

#### Bangkok Dealer's Eye

タイ時間21日午前0時、トランプ氏が米国第47代大統領に就任した。就任演説では主に①移民政策、②エネルギー政策、③関税政策についての言及がなさ れ、①・②については演説後に国家非常事態が宣言される等の動きが見られたが、③については就任初日の関税発動を見送り、演説でも抽象的な情報発 信に留まっている。一連の流れを受けて、ドルバーツ相場はドル安・バーツ高方向へ振れており、足もとでは34バーツを割り込んで33バーツ台後半の水準で の推移を見せている。ただし、就任以降、様々なヘッドラインが出る中で、「2月1日までにカナダとメキシコへ25%の関税を賦課する意向」、「中国への10%関 税について協議中」との報道も確認されている。まだ具体性に欠ける情報しか確認はできていないものの、それ故に先行き不透明感が一層高まっていると いった側面もあり、今後、USD/THB相場を含め、マーケットのボラティリティの高まりには引き続き警戒感を持っておきたい。また、今週のもう一つの注目材料 として日銀金融政策決定会合(23日-24日)があるが、まだ会合開催前の段階にして、既に利上げが決定的との報道が見られている。マーケットも当該会合で の利上げを9割以上織り込んでいる状況であり、注目は更新される経済見通しと、総裁会見による情報発信といったところだろう。いずれにせよまだまだ気 の抜けない展開は継続しそうだ。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitaion to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.